

## 視察研修報告

農業委員会では7月22日から24日まで視察研修を実施しました。今回は、田中忠二委員からの報告を掲載します。

視察1箇所目は福島県南相馬市のえこえね南相馬研究機構を訪れました。この機構は東日本大震災と原発事故によって様々な問題が起きてしまったため、原子力エネルギーから再生可能エネルギーへの転換や省エネルギーなどを目指し、それを復興の原動力にして地域を変えていこうとしています。このことから農業を継続する手段の一つとして営農型ソーラー発電を実施しています。ソーラーパネルは八戸周辺で見かけるものより高い位置に設置してあります。

営農型ソーラー発電のメリットは農業経営と発電で収入が安定すること、作物の日焼けを防ぎ、土の湿度を保てること、夏場の農作業が楽になること、防虫、防鳥ネットの取り付けが容易になることなどです。

一方デメリットは農作物によっては収入が減少すること、ソーラ

ーパネルの設置やメンテナンスで費用がかかること、大型農機での作業はしづらいことなどだそうです。現在は大豆を作付し、ソーラーパネル設置前の80%以上の収量基準を満たしているということでした。

畑では5〜6人の若者が30度を超える暑さにもかかわらず黙々と草刈をしており、「半農・半電」という新しい形の農業の将来に期待が持てると感じました。



説明してくださった機構の高橋理事

次に伺ったのは宮城県大崎市の農業委員会です。大崎市では平成9年に耕作放棄地の再生に取り組みため鬼首農地開発農業振興組合を設立しました。組合では比較的

栽培しやすい山菜類などの栽培実証展示圃を設置したり、直売所を設置して、その周辺の耕作放棄地でマリーゴールドなどの景観植物を植栽するなどの活動のほか、菜の花の作付を行い食用油の商品化、販売もしているとのことでした。

また、大崎市農業委員会では農家・農業の中での女性のあり方を大事に考えており、年に2回行う女性農業委員会議では農業高校の女子生徒に参加してもらい意見を聞くなどの活動もしているとのことでした。

最後に訪れたのは秋田県美郷町の農事組合法人サンファームです。6次産業化への取組と言うことで代表の深沢さんからお話を伺いました。法人は平成10年に3人の農家で設立。現在は米を中心に様々な野菜を栽培しているそうです。基盤整備が済んだ田んぼで酒米の作付を行っており、経営観念をもって、どのようにしたら売れるかを常に考えて行動することが必要だとおっしゃっていました。

農家レストランはどっしりした門構えで、何か期待して入りたくなるような雰囲気でした。地元で採れた自信のある作物を使用した、アスパラ、メロンの栽培、

米のもち加工なども行っているそうです。ここで昼食をいただきますが、奥羽山脈から流れてくる水で育った仙北平野のあきたこまちは、粒にツヤがあり、最高の味でした。また、野菜炒めはしっかりと炒められているのに、野菜のきれいな色が残っていて見た目にも鮮やかでした。レストランとなると客はおいしくないと来てくれないうし、注文を受けてからのスピードや、味を安定させないとリピーターには繋がらないそうです。

伺ったのは昼時とあってテーブルはほぼ満席でした。地域の賑わいと農業の活性化に繋がる新しい農の風が吹いているのを感じました。以上報告と致します。



農家レストラン「サラダハウス」

# 平成28年度学生募集

## 青森県営農大高校

### ■学校の特徴

地域農業の中核的担い手となり得る農業経営者及び農業を支える多様な人財の養成を目的とした県立の専修学校です。

プロジェクト研究や2年次の農家実習を中心とした実践教育の他、大型特殊自動車やけん引免許（いずれも農耕車限定）、家畜人工受精師（畜産課程のみ）、毒物劇物取扱者などの資格取得の機会を設けています。また、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が与えられるとともに、4年制大学への編入学が可能です。

### ■修業年限

2か年(全寮制)

### ■募集人員等

畑作園芸課程、果樹課程、畜産課程 70名(くくり募集)

### ■年間経費

(1) 授業料 118,800円

(2) 諸経費 650,000円

(寮食費、寮光熱費、教材費、各種資格試験受験料、実習服費他)

### ■募集日程

(1) 推薦選考

・ 願書受付

10月7日(水)～21日(水)

・ 選考日

11月13日(金)

(2) 一般募集

・ 願書受付

12月1日(火)～15日(火)

・ 試験日

平成28年1月22日(金)

※定員に満たない場合、二次募集試験を実施します。

■第2、3回オープンキャンパス

10月24日(土)、25日(日)の営大

祭と併催になります。営大に興味

のある方は是非おいでください。

間青森県営農大高校 教務研修課

〒039-2598

上北郡七戸町字大沢 48-8

☎ 0176-62-3111

ホームページ

<http://www.applenet.jp/~einou/>



## 県南果樹部参観デーを開催します

(地独) 青森県産業技術センター

りんご研究所

### とき

平成27年9月8日(火)

午前9時～午後4時

### ところ

りんご研究所 県南果樹部

三戸郡五戸町扇田字長下タ2

### 行事内容

① 果樹試験圃場の公開 (午前9時

～午後4時)

② 圃場案内ツアー 午後1時出発

(1時間程度)

おうとう「ジュノハート」、ぶどう「シャインマスカット」、果皮

の赤い西洋なしについて解説

③ 果樹栽培相談所の開設 (午前9

時～12時及び午後2時～4時)

品種特性、栽培方法、病害虫防除

等

④ 主要成果の資料展示・果実の展

示 (午前9時～午後4時)

⑤ 所内生産物の販売 (午前9時～

なくなり次第終了)

### 併設催事

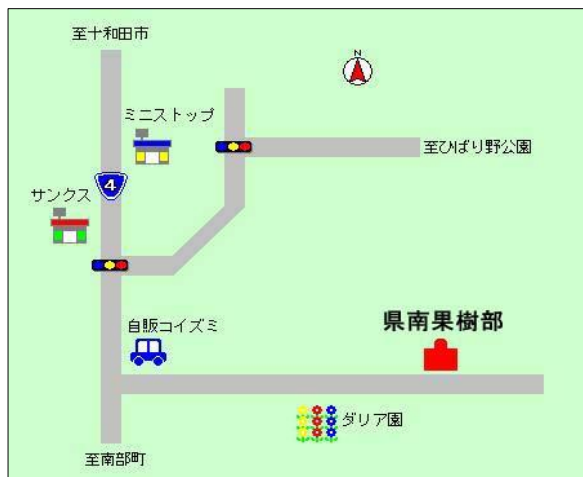
① なし果実品評会 (青森県なし振

興協会主催)

② 農業資材、地域農産物、農業図

書などの展示と販売

りんご研究所 県南果樹部  
 ☎ 0178-62-4111



国が支える。安心が大きくなる **知って得する 積立年金 農業者年金**

農業者年金は、加入者自らが支払った保険料が将来の自らの年金給付に使われる積立方式の年金です。

①60歳未満 ②国民年金第1号被保険者  
 ③年間60日以上農業に従事している

の要件を満たした方は誰でも加入できます。

◆年金額を試算してみませんか？◆  
 農業者年金基金ホームページ  
<http://www.nounen.go.jp>

# 農地情報

新規の農地情報をお知らせします。  
農地の詳細な所在について確認したい方、興味をお持ちの方は、農業委員会までお越しください。新規以外の情報は折込チラシにございます。

## ■農地を貸します

	所在地	地目等	面積 (㎡)	希望価格
①	98-1	田 (農用地)	2,695	水利費 (15年)
	市川町 堤下		792	
	98-3		1,413	
	67-1	田 (農用地)	3,642	
	市川町 吹上沖		70	
	67-2		772	
	67-3		958	
67-4				

## ■農地を売ります

	所在地	地目等	面積 (㎡)	希望価格
①	是川 金谷沢	田 (農用地)	4-1 961	150万円/10a 賃借：粳120kg/10a
	4-2 763			
②	河原木 大谷地	田 (農用地)	18-1 2,152	総額170万円
	18-2 991			
③	市川町 上大川端	畑 (農用地)	35 2,162	応相談
	50-4 5,906			
	市川町 壁取下	田 (農用地)	36 6,817	
37-2 521	賃借：応相談			
④	大久保 弥四郎蒔目	畑 (白地)	28 3,404	応相談

※農地転用・農地改良につきましては、農業委員会や農業委員にご相談ください。

問 農業委員会  
☎ 43-2111 (内線 4014)

申請月	許可申請			届出	
		3条	4,5条		
9月	受付	9/11~18		締切	9/7 9/24
	交付	10/16	※10/23	交付	9/15 9/30
10月	受付	10/13~20		締切	10/5 10/20
	交付	11/16	※12/1	交付	10/15 10/30
11月	受付	11/11~20		締切	11/5 11/20
	交付	12/16	※12/25	交付	11/13 11/30

※他法令との調整により、変更となる場合があります。

最終的には3組のカップルが成立しましたが、今まで見てきた中で男性の場合は「彼女が欲しい」、「結婚に向けてがんばりたい」と参加者に対して宣言している人が、カップルになる確率が高いようです。実際今回の交流会でも、一面でご紹介した元柔道部主将が、みごとカップル成立となりました。これまでに2組のカップルがゴールインしているこの交流会ですが、昨年からは青森県が主導する「あおり出会いサポートセンター」に協賛団体として登録しています。こちらにも会員になると様々なイベントに参加できますので、興味のある方はインターネットで検索してみてください。

のうぎょうだより担当 高橋

農地法関係の申請受付日等について  
当委員会で設定している農地法第3、4、5条の許可申請・届出の受付期間等をお知らせします。申請内容や申請書類については、事前に農業委員会でご確認ください。

少し前になりますが、7月に開催した農業体験交流会に、私もお手伝いできてきました。参加者は初対面の方ばかりなので、会話が弾むかどうか心配していましたが、農作業や、パフエ作りなどの共同作業をすると徐々に打ち解けてきて、ワイワイと賑やかな会になりました。

農地法関係の申請受付日等について







平成 27 年 9 月号 No.504

農家の経営と生活に役立つ  
**全国農業新聞を  
 読みましょう！**

発行所 全国農業会議所  
 購読料 1 か月 700 円  
 毎週 1 回発行・自宅直送  
 お申込みは農業委員会へどうぞ！  
 (TEL 43-2111 内線 4013)

# フルーツ農コンを開催しました

農業委員会では毎年、農業者を含めた結婚に意欲のある独身者を募り、交流を深めるための農業体験交流会を開催していますが、今年7月5日(曜日)に南部町チェリウスでさくらんぼ狩りとパフェ作りを楽しむフルーツ農コンを行いました。

当日は八戸市や南部町、三戸町などから男性15名、女性13名が参加しました。バスの中での自己紹介では、高校時代は柔道部の主将を務めたという男性から「彼女が出来たら一生守り抜きます」との熱い宣言が飛び出すなど、冒頭から盛り上がりました。



グループでさくらんぼ狩りを楽しむ様子



1対1トークタイム

南部町到着後は、グループでの収穫作業を行い、この時期最後のさくらんぼを味わっていました。始めは緊張していた参加者たちでしたが、交流が進むにつれて和んだ雰囲気となり、会話も弾んで連絡先を交換する様子なども見られました。また、アピールタイムには農家の男性から「絶対に食いつばぐれさせません！」との力強い言葉も聞かれました。

交流会最後のカップル発表では3組のカップルが成立。帰り際に一緒に帰る姿や、仲良くなったグループで飲みに行く姿なども見られ、それぞれが新たな出会いを楽しんだようでした。

# 三八地区農業委員大会が開催されました

去る7月29日に新郷村都市農村交流センター美郷館において第36回三八地区農業委員大会が開催されました。

議事では当農業委員会の籠田会長が議長を務め、全国一律の規制ではなく各々の地域の実情に応じた農地の活用を求める要望と、優良農地確保のためにも米の減反政策の堅持、若しくはそれに代わる制度を確立することを求める要望が全会一致で承認されました。これらの要望については大会後に要請書を作成し、早期実現に向けて関係機関等に要望することとなります。

大会は、農業委員が本大会で決議された要望事項の実現に向かって総力を挙げて活動を展開することと、地域農業者の信頼と期待に応えることを宣言し幕を閉じました。



## 議長

議長を務める籠田会長